

豊橋技科大と岡崎工業高校等の著作「超微量分析入門」が出版されました。

(あいち STEM ハイスクール研究指定事業) トピックス 2019年7月22日

このたび、高等学校化学基本レベルの知識でも対応できる超微量分析の入門書・教科書「超微量分析入門」が出版されました。

本書は、高等学校での化学の学習状況が十分ではない学生でも、高等学校化学から大学化学へと無理なくスムーズに移行できるように配慮されています。本書が多くの場面で実際に活用され、それを通じて、分析化学分野で近年特に重要視されている超微量分析を身近に感じいただき、化学系高校、高等専門学校、あるいは大学の教養教育段階での教材として広く使用されることを期待します。本学博士後期課程を修了した愛知県立岡崎工業高等学校の井上満教諭、山梨大学の植田郁生助教、そして本学応用化学・生命工学系の齊戸美弘教授が中心となって執筆・編集を行っています。なお、本書は、あいち STEM (Science, Technology, Engineering, Mathematics) ハイスクール研究指定事業において提携関係にある本学と岡崎工業高等学校所属教員の協力により出版されました。



カバーデザイン

【監修】

竹内豊英 岐阜大学 教授

【著者】

井上 満 愛知県立岡崎工業高等学校 教諭 2015年本学博士後期課程修了 (齊戸美弘研究室)

植田郁生 山梨大学 助教 2010年本学博士後期課程修了 (齊戸美弘研究室)

齊戸美弘 豊橋技術科学大学 教授

高橋隆子 アメテック株式会社

深澤亮一 スペクトルデザイン 代表取締役社長

堀江正一 大妻女子大学 教授

【協力】

北川文彦 弘前大学 准教授

【主要目次】

<第1編 基礎編>

第1章 超微量分析—誇れる最先端の技術—

第2章 分析化学の基礎—学際的な化学を支える大黒柱—

第3章 現代の分析化学—飛躍的に進化する微量分析技術—

<第2編 実践編>

第4章 クロマトグラフィー—伝統の分離分析法—

第5章 キャピラリー電気泳動—生命科学を支える分析技術—

第6章 ICP 質量分析—究極の無機元素分析法—

第7章 テラヘルツ波分光分析—電波と光の境界にある光分析—

第8章 食品分析—食の安全・安心を支える—

【出版社】 株式会社オーム社 (東京都千代田区神田錦町 3-1)

【出版年月日】 2019年6月17日

【判型・ページ数】 B5・203 ページ 電子書籍・オンデマンド (ペーパーバック) 大判 A4 あり

【定価】 本体 2,000 円 (税別) より